

平成21年11月25日

各位

会社名 株式会社セイクレスト
代表者名 代表取締役 青木 勝稔
(JASDAQ・コード番号8900)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 三浦 多実也
電話 06-6264-7077

平成21年10月22日公表「平成21年10月2日付適時開示「主要株主の異動に関するお知らせ」の誤認について」の経過報告に関するお知らせ

当社が平成21年10月22日に公表いたしました「平成21年10月2日付適時開示「主要株主の異動に関するお知らせ」の誤認について」にてお知らせしておりました調査中としていた事項につきまして、以下のとおり途中経過を報告いたします。

記

1. 平成21年10月22日公表「平成21年10月2日付適時開示「主要株主の異動に関するお知らせ」の誤認について」の情報開示を行った経緯及び内容について

当社は、平成21年10月2日付適時開示を行いました平成21年10月1日付の「主要株主の異動に関するお知らせ」にて、「新たに主要株主となったもの」として、平成21年10月1日付の株式会社ハンバーストーンによる第3回株式会社セイクレスト新株予約権の行使によって、株式会社ハンバーストーンが当社の株式を319,500株(12.45%)保有することとなったことを認識しておりました。しかしながら、平成21年10月22日付で当社が株主名簿管理人より受領いたしました平成21年9月30日時点の株主名簿を確認したところ、株式会社ハンバーストーンが保有している当社の株式数が、当初当社が認識していた219,500株ではなく実際には59,500株であり、当社は、再度株式会社ハンバーストーンに当時の当社株式の保有状況について確認したところ、保有している当社株式数について誤って認識しており、平成21年9月30日時点の当社株式の保有株式数は219,500株ではなく、59,500株であり、10月1日時点の当社株式の保有株式数は319,500株ではなく、159,500株であったとのことであります。当社は先般の状況について調査を進めており、ジャスダック証券取引所からも詳細な事実関係の調査を依頼されている状況でありました。

2. 当該状況の事実関係について株式会社ハンバーストーンに確認した内容

当社が、株式会社ハンバーストーンに対して上述の保有株式数の誤認識の状況について詳細な事実関係を確認した内容は以下のとおりであります。

株式会社ハンバーストーンによれば、今般の状況において誤差が生じている160,000株については、株式会社ハンバーストーンから中山隆之氏へ平成21年8月14日付で100,000株、並びに岡本彩氏へ平成21年9月2日付で60,000株を買戻特約付有価証券売買契約の締結に基づき譲渡した後、平成21年9月30日の時点において、中山隆之氏並びに岡本彩氏の両名が当該株式合計160,000株をすべて売却していたため減少したことによるものであるとのことであります。株式会社ハンバーストーンが両名へ譲渡した株式については、買戻特約付有価証券売買契約の締結に基づき譲渡したものであり、大量保有報告書の提出事由には該当しないという認識であり、株式異動に係る変更報告書の提出は行っていないとのことであります。

しかしながら、買戻特約付有価証券売買契約の締結については、当該株券等に関する担保契約等重要な契約に該当していたため、株式会社ハンバーストーンは当該内容を記載した変更報告書に係る訂正報告書を平成21年11月20日に関東財務局へ提出したとのことであります。

当社は、買戻特約付有価証券売買契約の締結に至る経緯、内容等について、引き続き調査を進めてまいります。また、ジャスダック証券取引所からも当該状況の事実関係について詳細な調査を依頼されている状況であり、判明次第直ちにお知らせいたします。

以上